

2 欠席連絡の聴き方と対応 ～ 全職員が欠席理由に敏感になることが大切！ ～

欠席1日目

【 朝 】 保護者から欠席連絡が来たら・・・

ア 「体調が悪いので欠席します。」

聞く

目的：欠席理由と実態の把握

- ◎ 電話で具体的な情報を確認する。
 - ・「熱は何度ですか。」
 - ・「病院に行かれたのですか（行くのですか）。」
 - ・「どのような症状ですか。」
 - ・「何か気になること（心配なこと）はありますか。」 → 「実は・・・」

イ 「学校に行きたくないとっています。」

聞く

- ◎ 面談を申し出る。
 - a 面談を希望した場合
 - ・家庭訪問か、来校か。
 - ・複数で訪問→こちらが予定する教職員でよいか確認。
 - ※ 面談を拒否される教職員はいないか。(P.9「家庭訪問の留意点」参照)
 - b 面談を拒否した場合
 - ・電話で具体的な事実確認。

「病気欠席らしい」

ポイント

熱もなく、症状も不明確な時は、「何か気になること（心配なこと）はありますか？」と聞いてみることも大切です。



管理職に報告

- ・1日の欠席でもきちんと把握する習慣をつけておく。
- ・日ごろから家庭との連携を図っておく。
- ・真実を伝えてもらえる信頼関係を日頃からつくっておく。(早期発見・早期対応の鍵)
- ・記録や情報を集める。(最近の出欠状況, 保健室の利用状況, 友人関係など)

※ 「欠席連絡シート」による記録・報告

- (1) 印刷して、電話の近くに置いておく。
- (2) 学級担任以外が電話を受けた場合、必要事項を記入の上、必ず学級担任に渡す。
- (3) 保護者と面談の必要がある場合、必ず管理職に報告する。

【放課後】 学校から電話をかける



本人が出た

保護者が出た

聞く

- 家庭での過ごし方
 - 朝の様子・昼の様子・夜の様子
- 体調
 - 「具合はどう？」
 - 「病院に行った？」
 - 「ご飯は食べられた？」
- 生活リズム
 - 「何時に起きた？」
 - 「夜は眠れた？」
- 気になること・心配なこと
 - 「何か気になることや心配なことはある？」

伝える

- 明日の連絡
 - 時間割・持ち物
- 気持ちに寄り添う声かけ
 - 「吐き気がひどかったんだよね。辛かったね。」
- 安心感をもって登校できる声かけ
 - 「〇〇さんのこと、みんなが心配してたよ。」
 - 「先生も〇〇さんがいなくて、寂しかったよ。」
 - 「待ってるよ。」

聞く

- 家庭での過ごし方
 - 朝の様子・昼の様子・夜の様子
- 体調
 - 「どんな具合ですか？」
 - 「受診結果はいかがでしたか？」
 - 「食欲はありますか。」
- 生活リズム
 - 「何時におきましたか？」
 - 「夜は眠れていますか？」
- 気になること・心配なこと
 - 「体調面以外、〇〇さんの様子で、気になることはありますか？」

伝える

- 明日の連絡
 - 時間割・持ち物
- ねぎらいと感謝の言葉
 - 「お忙しいところ、ご丁寧にありがとうございました。」

誰も出ない

聞く（留守番電話に）

- 家庭での過ごし方
 - 朝の様子・昼の様子・夜の様子
- 体調
 - 「〇〇さんの具合はどうですか？」

伝える

- 明日の連絡
 - 時間割・持ち物
- いつでも話を聴く姿勢
 - 「気になること、心配なことがあったら、いつでもご連絡ください。」

《ポイント》
 夜は元気で、「明日は学校に行く。」と言っているけど、朝になると行けなくなる……。それを知るために、朝・昼・夜の様子を聴くことは大切です。

